

用語解説

本文中の＊印を付けている用語の解説を記載

ア 行

■ ARCHES

水素エネルギーの利用を促進する全米最大の官民合同組織。(P111)

■ i-Construction

情報通信技術（ICT）を活用した施策を建設現場に導入することによって、建設生産システム全体の生産性向上を図り、魅力ある建設現場を目指す取り組み。(P101・P139)

■ ICT

Information and Communication Technology の略で、情報通信技術のこと。(P13 外)

■ WELL Health-Safety Rating (WHSR)

新型コロナウイルス感染症発生後にできた世界的な衛生基準。接触感染、空気・飛沫感染に幅広く対応。(P8)

■ FSC (FSC 森林管理認証制度)

環境に配慮した一定の基準、規格等を満たす森林経営が行われている森林を国際的な非営利団体 FSC (Forest Stewardship Council 森林管理協議会) が認証する制度。FSC は、独自に定めた 10 の原則及び 70 の基準に基づき森林認証を行っている。

(P186)

■ OECM

Other Effective area-based Conservation Measures の略。自然公園などの保護地域ではない地域のうち、生物多様性を保全できる地域のこと。(P126)

カ 行

■ グリーフケア

身近な人との死別を経験し、悲嘆に暮れる人を悲しみから立ち直れるように支援すること。(P50)

■ グローバル・アドバイザリー・ボード

感染症に関する最新の情報や知見を得るため山梨県感染症対策センターが設置した、国内外の専門家で構成される組織。(P6)

サ　　行

■ JET プログラム

「語学指導等を行う外国青年招致事業」のこと。(The Japan Exchange and Teaching Programme) (P65・P163)

■ CKD

Chronic Kidney Disease の略で「慢性腎臓病」のこと。腎障害を示す所見や腎機能の低下が慢性的に続く状態を言う。(P79)

■ CDR (チャイルド・デス・レビュー)

Child Death Review の略で、医療機関や行政をはじめとする複数の機関・専門家が連携して、亡くなったこどもの事例を検証し、予防策を提言する取り組み。(P50)

■ STEAM 教育

STEM (Science, Technology, Engineering, Mathematics) に加え、芸術、文化、生活、経済、法律、政治、倫理等を含めた広い範囲で A を定義し、各教科等での学習を実社会での問題発見・解決に生かしていくための教科等横断的な学習。(P145)

■ ZEH

Net Zero Energy House の略で「外皮の断熱性能等を大幅に向上させるとともに、高効率な設備システムの導入により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギーを実現した上で、再生可能エネルギー等を導入することにより、年間

の一次エネルギー消費量の収支がゼロとすることを目指した住宅」のこと。

(P119)

タ　　行

■ DPAT

Disaster Psychiatric Assistance Team の略。精神科医師、看護師、業務調査員で構成される。災害時の精神保健医療ニーズに対応することを目的とした、専門的な研修・訓練を受けたチーム。(P77)

■ DMAT

Disaster Medical Assistance Team の略。医師、看護師、業務調整員で構成される。発災から概ね 48 時間以内の急性期に活動できる機動性を持つ、専門的訓練を受けた医療チーム。(P77)

■ トータル・サポート・マネジャー

経験 5 年以上かつ一定の要件を満たした訪問看護師等のうち、108 時間の養成研修を修了し、医療依存度の高い在宅療養者に対し、多職種連携のための医療分野の調整役を担う者。(P75)

■ トリアージ

医療現場等において、患者に対し重症度と緊急性に基づいて、治療の優先順位を決めること。軽症患者よりも重症患者を先に治療することでより多くの命を救うために行う。(P73)

ハ 行

■胚培養士

不妊治療において、体外受精や顕微授精など、生殖補助医療を行う技術者のこと。(P50・P76)

■ハッカソン (Hackathon)

決められたテーマに対し、チーム毎に短期間でシステムやサービス開発のアイデアを出し合い、実際に開発し発表し合うイベント。Hack（ハック：開発）とMarathon（マラソン）を合わせた造語。(P95・P133)

■PBL

Project Based Learning の略。学習者が自ら課題を見つけ、その課題を自ら解決する過程を通して、課題を解決するために必要な資質・能力を身に付ける学習方法。課題解決型学習ともいう。(P39・P95・P133・P145)

■プレコンセプションケア

将来の妊娠を考えながら自分たちの生活や健康に向き合うこと。(P50)

ヤ 行

■やまなし感染管理支援チーム (YCAT)

Yamanashi infection Control Assistance Team の略で、高齢者施設等でクラスター、集団感染が発生した際に、発生初期から収束まで継続的に支援するチーム。医師、看護師などの感染症の専門人材から構成される。(P5・P6)

■ヤングケアラー

家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められる子ども・若者のこと。(P54)

ラ 行

■ LARTA 研究所

社会起業家を支援している全米最大級の非営利団体。 (P111)

■ リスクコミュニケーション

関係者相互間において、情報及び意見の交換を行うこと。 (P 6)

■ 流通備蓄方式

県から業務を受託した事業者が、日常行う取引を活用して、県が備蓄する物資を使用期限が切れないよう新陳代謝させる管理方式。 (P 4)

■ レスパイト・ケア・サービス

「子育て支援体制の充実」においては、母親などが、一時的に育児から解放され、心身を休めてリフレッシュしていただくための支援サービスのこと。 (P51)